

# オリンピック

平成 19 年 6 月 20 日  
2

都立北豊島工業高校だより

校訓「自治」 実力主義、努力主義、反省主義

編集長 丸茂聡

## 体育祭大成功！ 優勝は3組！

6月2日(土)に体育祭が行われました。好天に恵まれ、5色のクラスTシャツが校庭を駆けまわり、熱気の伝わる、素晴らしい体育祭でした。



一心同体



棒引き



色別リレー

結果は以下のようになりました。

### 優勝

3組 694点

### 準優勝

2組 673点

三位 4組 628点

四位 5組 603点

五位 1組 539点



### 優勝クラス 三組団長 3-3 松元

体育祭で、優勝できて嬉しかったです。一番嬉しかったことは、騎馬戦で勝ったことと、色別リレーで西口君がアンカーをやってくれたことです。西口君は気分が悪くて、でも走ってくれて、ゴール直前で涙が出てきました。

三年最後の体育祭で大将をやったとても良い思い出になりました。

3組の諸君おめでとう！

大成功のうちに終了した体育祭ですが、その裏では、もちろん生徒会のメンバーをはじめ、多くの生徒達が準備や運営に携っていました。PTA役員の皆様、体育委員、各クラブの生徒たち。そんな裏方で頑張っていた生徒諸君の一部から、今回コメントをいただきました。

### 運動部長 3-5 宮嶋

開会式、閉会式の時に前に出てラジオ体操をやることになった。全生徒の目の前に立って体を動かす。ただそれだけなのに僕はすごく嫌だった。なぜか？僕があがり症だからだ。人の前に立つだけで心臓バクバクになるのだ。僕にとって恥を晒す以外の何でもない。まあ、あれこれ言っているうちに本番だ。人々の前に立ち、ラジオ体操をやった。・・・？別に緊張なんてほとんどしなかった。ふっ、大したことないな。・・・すこし間違ってしまったけどね。

今年の体育祭はスムーズに進み大いに盛り上がった。高校生活最後の体育祭は準備などでいそがしかったが、はっきりと「楽しい」と言えるものでした。

### 運動副部長 2-5 生玉

今回の体育祭は、練習時間が少なく不安でした。予行は、全部混乱せずに終わって良かったです。終わる時間は少し遅かったです。本番は、集まり並ぶ時間が早くて、スムーズに進みました。昨年に比べて、とても盛り上がっていました。棒引き、大縄、三年全員リレー、色別リレー、どの種目もとても盛り上がっていて楽しかったと思います。

### 放送担当 3-4 戸田

一年から三年の各クラスが一致団結して「優勝」を目指した熱い一日だった。しかし、熱気だけでは、少し物足りない。そこで視聴覚委員の出番だ。

競技ごとに違う曲を流し、体育祭の熱気と音楽の楽しさをうまく混ぜる。各クラスの生徒を熱気だけではなく、「音楽」と言う魔法のようなものでさらに楽しませることが一番大変だったところであり工夫した点でもある。

### アナウンス担当 2-4 溝口

前日まで天気あまりよくなかったので、体育祭は出来るのかと思いました。でも前日は雨が降らなかったため、先生や生徒たちは体育祭に向けて準備にとりかかっていた。

当日、体育祭が始まり、三年生は盛り上がりつつありました。自分は自分が出る種目以外はずっとテントの下にいました。一年、二年、三年の女子はアナウンス担当だったのですが、アナウンス中にみんなが失敗していたのが、放送中に笑い声が中に入ってしまったことです。来年は注意してやりましょう。



ラインを引く体育委員



視聴覚委員スタンバイ中



アナウンス担当者たち

みなさん、お疲れ様でした。

# ECO 倶楽部発足

本校は環境配慮の活動を行っています。

今年5月末から、生徒を中心とした環境配慮活動を続けていくために、ECO倶楽部が発足しました。



第1期 ECO 倶楽部参加者

## 生徒会自治委員長 3-4 坂本

この度、北豊島工業高校ではECO(エコ)倶楽部を立ち上げました。

最初に「緑化活動」として校庭の一角をかりて「畑」を作り、サツマイモなどの植物を栽培しています。今後も様々な環境配慮活動を展開していきたいと思ひます。

専門家によると、あと5年以内に有効な手を打たなければ、地球温暖化は止められないかもしれないと言うことです。我々はこの問題をテレビや新聞で観ているだけで良いのでしょうか？たとえ少しの活動であっても、たとえ無駄だと言われても、僕達は可能性のある限り諦めません。みなさんの少しの行動で地球を救えるかもしれないのです。



**一緒に活動してくれる人を募集しています。**

## ECO倶楽部 憲章

私たちは、地球のため、未来のために、日夜努力を惜しまず、環境に優しい生き方を心がけます。

私たちは、地球のため、未来のために、活動の輪を広げるべく、日夜行動を続け、環境活動の一翼を担う大きな力となるよう努力します。

私たちは、地球のため、未来のため、愛する人々のため、そして自分自身のために、楽しみながら共働します。

## 「北豊島」地名の由来

現在の板橋区は、武蔵国(むさしのくに)豊島郡に属していました。豊島郡の範囲は大きく、現在の板橋・豊島・練馬・北・荒川・台東・文京・新宿の各区と千代田・港・渋谷の各区の一部にまで広がっていました。豊島の由来は、海面上昇により古東京湾がこの地域に入り込んでいた時期に、沿岸に多くの島があったことによると言われていますが、確かな証拠はありません。



明治時代前期の北豊島郡前野村付近

[国土地理院明治前期測図2万分1フランス式彩色地図複製 [(財)日本地図センター発行]をもとに作成。]

### [参考文献]

- 『東京地名考』上下 朝日新聞社会部 朝日文庫
- 『東京の地名由来辞典』竹内誠 著 東京堂出版
- 『練馬区小史』 東京都練馬区

桓武平氏の子孫、秩父二郎武常が、平安時代末期に豊島郡に移り住んで豊島氏を名のりました。本拠地を、北区中里付近として、次第に石神井川を西にさかのぼって所領を拡大し、鎌倉時代末期には、豊島氏は石神井城の城主となりました。しかし、豊島氏は太田道灌と対立することになり、1478(文明10)年に豊島泰経が太田道灌に滅ぼされ、歴史の舞台から姿を消すこととなります。その後、豊島郡は、太田・上杉・北条・徳川各氏に支配され、明治維新を迎えます。

1878(明治11)年、郡区町村編制法の施行に伴って、豊島郡が北豊島郡と南豊島郡に分かれて現在の板橋・豊島・練馬・北・荒川の各区が北豊島郡に入りました。その後、1932(昭和7)年に北豊島郡は東京市に編入され、北豊島の地名は消滅しました。

さて、左の地図は、明治時代前期の北豊島郡前野村付近のもので、北豊島郡の地名が見られますが、北豊島工業高校がどの辺りになるか皆さん確認してみてください。正解がわかった生徒は、西棟3階視聴覚準備室まで来てください。

担当：社会科 富森 浩

## 「ふれあい」が本格的に始まります

東京都教育委員会設定教科「奉仕」・本校の科目名「ふれあい」が本格的に始まります。

本校では、地元板橋区内近隣にある老人ホームや養護学校など、合計12箇所と連携し、2年生の諸君が、工業高校の特徴である「ものづくり」の技術を活かして各事業所が必要としている製品を作る活動を行います。

**この科目は「必修」です。出席が求められますので、夏季休業期間中の暑い時期ですが、くれぐれもご注意下さい。**

ホームページリニューアル <http://www.kitatoshimakogyo-h.metro.tokyo.jp/>  
 オリンピア(カラー版)のほか、各種情報を更新しております。ぜひご覧下さい。

第3号は7月20日発行予定です。